

平成24年10～12月期の鉱工業指数

— 生産・出荷ともに3期連続して低下 —

1 概要

平成24年10～12月期の埼玉県鉱工業指数（X-12-ARIMAの中のX11-デフォルトによる季節調整済、平成17年平均＝100）は、前期と比べ生産、出荷及び在庫は低下し、在庫率指数は上昇した。

前年同期比においては、生産及び出荷指数は低下した。

	埼玉県			全国		
	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)
生産	79.9	▲3.4	▲9.0	87.8	▲1.9	▲5.9
出荷	72.7	▲5.6	▲12.1	88.2	▲2.1	▲6.0
在庫	96.3	▲1.8	62.8	105.1	▲2.5	3.5
在庫率	207.1	47.7	134.9	127.1	▲0.6	10.5

注) 前年同期比は原指数、在庫指数は期末値

2 鉱工業指数の推移(季節調整済指数)

	生産		出荷		在庫	
	指数	前期比 (%)	指数	前期比 (%)	指数	前期比 (%)
22年IV期	91.1	▲1.2	85.3	▲3.4	80.2	16.9
23年I期	89.9	▲1.3	84.7	▲0.7	76.8	▲4.2
II期	90.9	1.1	81.6	▲3.7	72.8	▲5.2
III期	87.8	▲3.4	81.6	0.0	72.5	▲0.4
IV期	87.9	0.1	82.8	1.5	59.1	▲18.5
24年I期	95.4	8.5	91.9	11.0	94.5	59.9
II期	89.1	▲6.6	85.4	▲7.1	90.8	▲3.9
III期	82.7	▲7.2	77.0	▲9.8	98.1	8.0
IV期	79.9	▲3.4	72.7	▲5.6	96.3	▲1.8

3 上昇・低下に寄与した主な業種及び品目

(1) 生産（9業種上昇 1業種横ばい 12業種低下）

上昇した主な業種	化学工業 5.1% (1.1%)	医薬品
	家具工業 18.7% (0.2%)	システムキッチン
低下した主な業種	輸送機械工業 ▲32.7% (▲3.1%)	乗用車
	情報通信機械工業 ▲35.6% (▲1.1%)	携帯電話
上昇した主な品目	医薬品（化）、フラットパネルディスプレイ製造装置（一）、システムキッチン（家）、機能部品（電子）、アルミエクステリア（金）	
低下した主な品目	乗用車（輸）、携帯電話（情）、半導体製造装置（一）、自動車エンジン（輸）、研削盤（一）、食缶（金）	

(2) 出荷（9業種上昇 13業種低下）

上昇した主な業種	化学工業 5.0% (0.8%)	医薬品
	パルプ・紙・紙加工品工業 6.4% (0.2%)	段ボール原紙
低下した主な業種	輸送機械工業 ▲31.9% (▲5.3%)	乗用車
	情報通信機械工業 ▲7.6% (▲0.3%)	カーナビゲーション
上昇した主な品目	医薬品（化）、フラットパネルディスプレイ製造装置（一）、携帯電話（情）分析機器（精）、機能部品（電子）、段ボール原紙（パ）	
低下した主な品目	乗用車（輸）、自動車エンジン（輸）、半導体製造装置（一）、食缶（金）、研削盤（一）、普通トラック（輸）	

(3) 在庫（11業種上昇 1業種横ばい 9業種低下）

上昇した主な業種	一般機械工業 52.5% (1.2%)	はん用内燃機関
	金属製品工業 11.2% (0.7%)	食缶
低下した主な業種	輸送機械工業 ▲41.4% (▲22.2%)	乗用車
	電子部品デバイス工業 ▲13.3% (▲0.9%)	整流素子
上昇した主な品目	はん用内燃機関（一）、H I Dランプ（電）、食缶（金）、アルミエクステリア（金）、铸铁管（金）、電気掃除機（電）	
低下した主な品目	乗用車（輸）、クッキングヒーター（電）、整流素子（電子）、小形棒鋼（鉄）、トランジスタ（電子）、織物製外衣（織）	

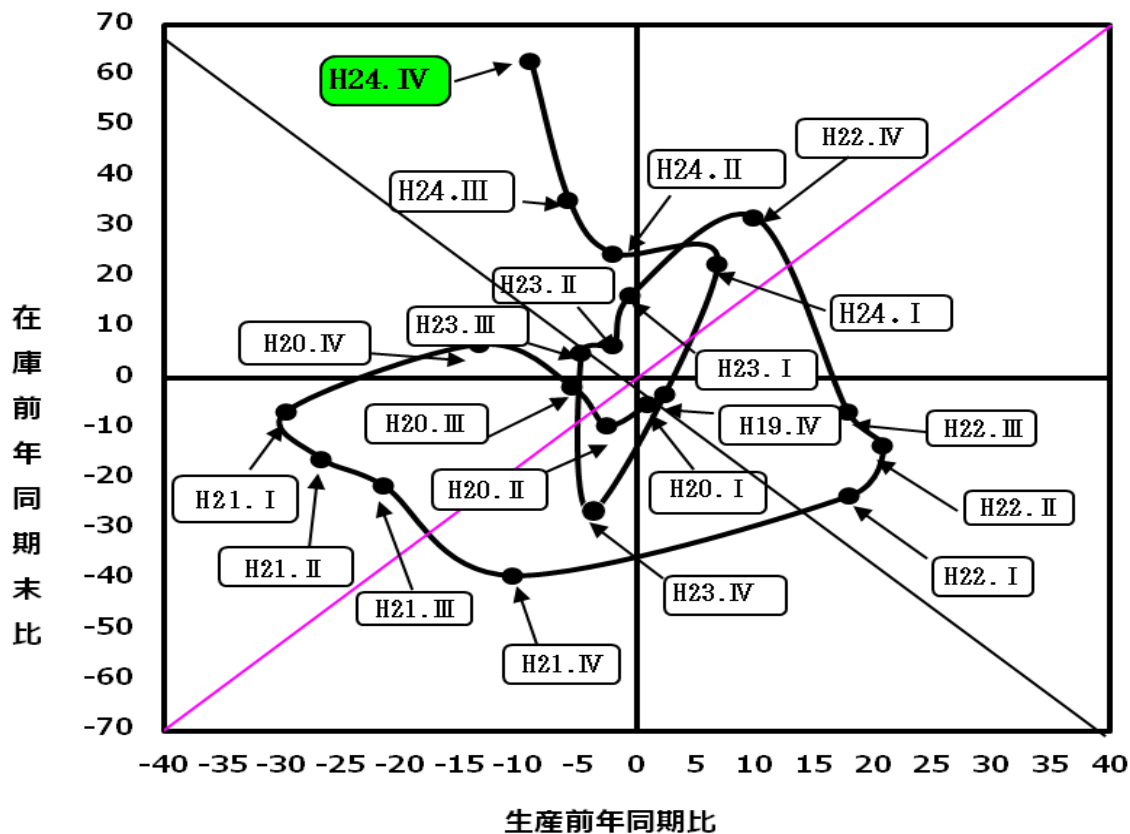
注1) 上昇・低下した業種には、産業総合、鉱工業総合、製造工業総合、その他工業総合、公益事業を数えていない。

2) 数値は対前期、（ ）内は寄与度。

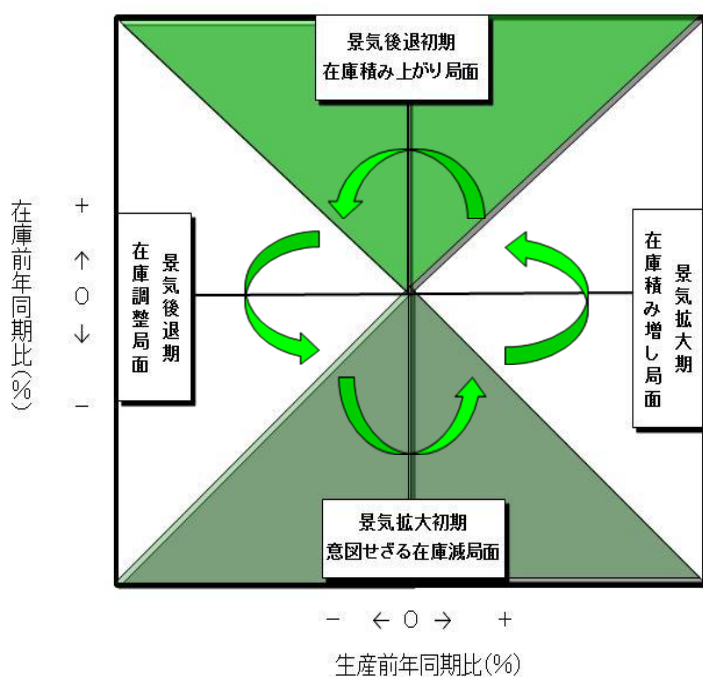
3) 上昇及び低下した主な品目別の（ ）内略称については、別添の業種分類別表を参照。

4 埼玉県在庫循環

埼玉県在庫循環図



参考 在庫循環図説明



在庫循環図は、企業の生産と在庫の関係を示しています。在庫の変動は生産活動に大きな影響を与えるため、この図は景気の局面を判断する際に有効とされています。

一般的には、在庫局面は
 ①意図せざる在庫減局面
 ②在庫積み増し局面
 ③在庫積み上がり局面
 ④在庫調整局面
 の4つの局面を循環していくことになります。